

令和6年度シラバス

文化学園大学保育専門学校

科目名				授業の種類		授業担当者	
保育内容指導法・造形表現				演習		小池 悟	
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修		
1	1	30	15	後期	幼児:選択必修 保育士:選択必修		
[授業の目的・ねらい]							
<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の発達や学びの過程を理解し、造形表現活動の設定や援助に必要な知識や技能を研究する。 ・造形表現活動に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を習得する。 							
[授業全体の内容と概要]							
<ul style="list-style-type: none"> ・保育における造形表現活動の特徴や面白さ確認しながら、作品制作を通して基本的な技能や知識を学び、造形表現活動を構想・計画・指導する力を身に付ける。 							
[受講上の注意事項]							
<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から子どもの造形表現活動に関心を持つよう心掛け、制作作品は必ず完成させる。 ・授業内容を振り返り復習し、理解を深める。 ・はさみ、のり、定規などは各自用意し授業の都度持参する。その他忘れ物をしない。 							
[使用テキスト]				[評価基準]			
<ul style="list-style-type: none"> ・「幼児造形の基礎」(萌文書林) ・その都度資料プリントを配布。 				<ul style="list-style-type: none"> ・作品制作を含めたポートフォリオ 70% ・課題毎の学修記録としてのレポート 30% 			
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]							
回	項目			授業内容			
1	オリエンテーション			・「保育内容としての造形表現」とは何か。授業内容について			
2	ポートフォリオの作成			・ポートフォリオの作成を通して保育を振り返り、幼児の心情や思考についての理解を深め保育構想の向上に活用する。			
3	幼児の発達と学びの過程理解 ①			・幼児の発達や学びの過程を理解し、造形表現活動において育みたい資質・能力について考える。			
4	幼児の発達と学びの過程理解 ②			・描画作品例について学び、その発達段階での特徴を理解する。			
5	実践例の研究 ①			・保育研究の論文やインターネットで発信されている造形表現活動の実践例から、動向や課題を知り自らの保育構想への活用を考える。			
6	実践例の研究 ②			・保育研究の論文やインターネットで発信されている造形表現活動の実践例から、動向や課題を知り自らの保育構想への活用を考える。			
7	実践例の研究 ③			・保育研究の論文やインターネットで発信されている造形表現活動の実践例から、動向や課題を知り自らの保育構想への活用を考える。			
8	自然や自然物を用いた造形表現①			・自然や自然物を用いた造形表現活動を実践し、素材の特徴や活動の面白さ、留意点などを考える。			
9	自然や自然物を用いた造形表現②			・自然や自然物を用いた造形表現活動を実践し、素材の特徴や活動の面白さ、留意点などを考える。			
10	身近な素材を用いた造形表現 ①			・身近な素材を用いた造形表現活動を実践し、素材の特徴や活動の面白さ、留意点などを考える。			
11	身近な素材を用いた造形表現 ②			・身近な素材を用いた造形表現活動を実践し、素材の特徴や活動の面白さ、留意点などを考える。			
12	指導案の研究 ①			・指導案作成の構造を理解し、造形表現活動のねらいについて具体的に考えると共に、様々な教材研究を行う。			
13	指導案の研究 ②			・これまでの学習を踏まえて、造形表現活動を実践するための指導案をグループで協議作成し、その指導案に沿って教材研究を深める。			
14	指導案の研究 ③			・グループ毎に模擬保育を実践し、その振り返りを通して改善を試みる。			
15	学習のまとめ			・幼児の造形表現における評価のあり方について考え、保育内容としての造形表現についてまとめる。			
実務教員としての経歴							
実務経験と授業の関連							